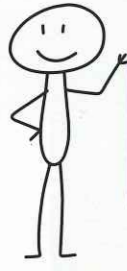
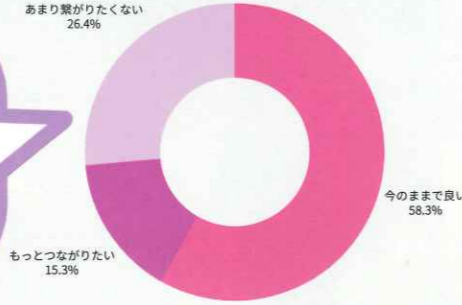


「親同士のつながりがあってあんまりなくなって寂しいよね。つながりがあったら、ちょっと連絡したり、小さなトラブルとか、すぐ解決できるのにおい！こう思っているのは私たちだけなのか？アンケートをとってみようか！」となりました。PTA役員の皆さんに相談すると、「来年度以降のPTA活動の参考になる貴重なアンケートなので、ぜひやってみましょう！」と60サイン！結果はこのようになりました。

Q.PTA（先生方や保護者の皆さん）の「つながり」について、いかがお考えですか？



今のままでいいと感じている方が6割近く占めました。共働きの家庭が増え、時間の捻出が難しく感じている方や、あえてつながりを増やさずとも現状維持を求めている方が多いようです。



Q「期待すること」の実現のため、どんなことをしてみたいですか？

（「子どもたちが安心して楽しく通える学校になるように協力し合う」「なるべく活動を減らす」などの回答がありました。）

- ・自由参加の図書ボランティア
- ・子ども達の未来のためにできる何かをみんなで考えたい
- ・見守り、掃除など本当に必要なボランティアには賛成
- ・ほんの少しで良いので繋がる場面があればいいです。時代にあった形に変えつつ…。顔見知りが増えたらいいなと思いますが、増えないまま今に至ります



- ・保護者の負担が多くなるから、活動をなくしてほしい
- ・PTA業務の洗い出し
- ・活動をするとなると必ず会長等役員を決めなくてはならず、やりたい方がいれば、良いと思いますが、立候補がいなければムリに活動しなくても良いと思います。
- ・土日仕事なのであまり参加したくない
- ・特になし（多数）



回答いただきありがとうございました。他にもご意見ありましたが一部抜粋とさせていただきます



この度はアンケートに対して多くの回答をお寄せいただきありがとうございました。全ての回答を読ませていただきました。PTA活動に人が集まらない、負担を感じる保護者が多いという状況から、この5年ほどかけてPTA活動全体の見直しを行い、本年度は学区の廃止にも踏み切りました。「今のまま」という回答が6割という結果は、現状の活動内容がある程度受け入れられているものと受け取りました。その中でも、つながりが薄れていくことを心配して、何かできることはないかと一生懸命考えてくれる方がいることがわかりました。今のままと回答された方の中にも、「自由参加」や「負担のない形」でなら子どもたちのために何か考えたいと回答してくれた方がいます。

一方で現状の活動内容でも負担を感じるという方が一定数いることも十分に考慮する必要があります。本当に子どもたちのためになる活動を、ご家庭の実情に見合った負担感のもとで行って行くにはどうしたらいいか。今回のアンケートを次年度以降のPTA活動に役立てていきたいと思ひます



多田会長

次回役員会でこのアンケートをもとに、来年度の活動について話し合われるそうです。皆さんが、楽しく負担なく学校とつながれるような活動になっていくといいなと思います。次号で来年度の活動についてお伝えできればと思います。

未来の南小

東京都出身の橋本先生。育った地は千葉県。幼い頃に家の前には新幹線と貨物線が通り、毎日電車を眺めるうちに自然と電車の数を数え数字を覚えたそうです。電車が身近にあった環境が、電車好きになったきっかけ。

高校の恩師の勧めと、北海道で一番遠くまで鉄道を乗り継いでいける大学というところで、北海道教育大学釧路校へ進学し、その後オホーツク管内の学校を中心に教員生活を送られてきました。



R7/11/4 広報部と対談。気がつけば二時間を超える熱い内容に。これからの南小改革のお話に、ワクワクしました！

特に、学校図書館関係の取り組みに精通しており、オホーツク管内で初めて学校司書を配置し、子どもたちと本をつなぐアプローチを試みた第一人者でもあります。

さて、南小ではどんな学校づくりのビジョンをお持ちなのかインタビューさせていただきました。

理想の転機でピンチをチャンスに

- F(古い) → Fine (いいね)
- S(狭い) → Simple (わかりやすい)
- K(暗い) → Kind(優しい) / Kakkoi (かっこいい)



良いことがあった時に、報告しに行ける入場券！

大人の手が足りない！環境と習慣で子どもを伸ばす

児童数が多く、大人の手が足りなくて困ることも数多くある南小ですが、このピンチはチャンスに変えることができると思っています。例えば、クラスや異学年など、子ども同士の関わりが増えるような日常的な活動をつくり、多様性を学ぶ機会にすることができます。また、子どもたちが先生の指導のレールに乗るだけでなく、自分で解決するための力をつけるチャンスでもあります。そのためには学校図書館の整備がとても重要です。PTAアンケートの中に、「学校図書館ボランティアをやってみよう」という記述がありました。ぜひ、お力を貸していただき、子どもたちの学びとつながっていただけたらと思います。このように、環境と習慣を整えることで、子どもたちが自ら伸びていけるようにしたいです。

予算が足りない！つながるチャンス

学校が古く、狭く、暗いのが南小の難点でもあります。しかし、修繕や改修の予算も限られています。でも、この校舎だからこそ、みんなでつながりを感じることができると思っています。古くても、整理整頓すれば気持ちよく過ごすことができます。また、みんなで知恵を出し合って手入れをしていけば、ぬくもりを感じ、子どもたちが「大事にされている」と感じられる温かな学校がつくれると思います。PTAのみならず、皆さんの趣味・特技が生かされ子どもたちの学びと成長を軸に大人同士がつながれたらと思います。

時間が足りない！先生の役割を狭く

先生方は、「もっと子どもたちと関わりたい」と思っていますが、時間がなかなか足りません。たくさん業務を学級担任一人で抱えるのは限界があります。そこで、今年度から一部の学年で試験的に教科担任制などの新たな取組を始めています。また、子どもたちには、学び方を身に付けさせ、子どもが学習の主体になるよう変えていきたいです。すると、先生の役割は「ティーチャー」から「ファシリテーター」に変わってきます。そうすることで、子どもたちが自立した学習に育ってくれば、子どもと先生の関わりも、もっと深いものになってくると思います。

いつでも気軽に校長室へ！

校長室は子ども達と真面目な話をする場所と思われがちですが「今日はこんなことができたよになったよ」「こんなことが楽しみなんだ」何気ない話をしたい時、嬉しかった時、校長室はいつでも開いています。いつでも「校長室入場券」を持って来てください。」と笑顔で話していました。



本と子どもをつなぐ
学校司書による

本で親子のつながり

「つながり」 おすすめ本の紹介



「つながり」というテーマに合わせて
さまざまな本を紹介します♪

ここにある本はすべて学校図書館にありますので気になった方は
ぜひ借りて読んでみてくださいね

作成：北見市立南小学校図書館 学校司書 棗友加里



人と本の
つながり

「かしくなる読書の超きほん」 監修／赤木かん子（朝日新聞出版）

本が苦手なひとにも、好きな人にも、ぜひ読んでほしい
おすすめの本の1冊です。本の世界の楽しさや面白さ、
図書館を上手に使う方法、いままで知らなかった本の
ひみつなど…これを読めばわかるかも！
調べ学習のヒントもたくさんついています。



将来の夢への
つながり

「しごとへの道 ①と②」 作／鈴木のりたけ（ブロンズ新社）

さまざまな職業の人を取材し、その職業をイラストとわかりやすい文章で紹介しています。
社会で活躍している人たちは、どのようにして自分の「好きなこと」を仕事にしたのでしょうか？ときには悩んで迷って失敗して…。
「大ピンチずかん」でおなじみの大人気絵本作家、鈴木のりたけさんの児童書です。



その「つながり」
の正体は！？

「はなすもんかー！」 作／宮西達也（鈴木出版）

運動会の時期に低学年の朝の読み聞かせで読んだ絵本です。森の中にあらわれたながーい「ひも」。カエルくんたちは「はなすもんかー！」と、つなひきをはじめます。色々な種類のカエルが登場するのも楽しく、最後には思わず笑ってしまう、読み聞かせにぴったりの絵本です。



黒猫ノアが教えてくれる、クラスメイトとのつながり

「さすらい猫 ノアの伝説」 著／重松清（講談社）

ある日、首に風呂敷包みを巻いた黒猫が、教室にやってきました。黒猫の名前は「ノア」。ノアはクラスみんなが忘れてしまった「たいせつなこと」を思い出させてくれます。クラスメイトとの絆を描いた心があたたかくなる作品です。



「ふわふわことば ちくちくことば」 監修／深谷圭介（日本図書センター） ①がっこう ②おうち ③おでかけ



「ふわふわことば」は「よかったね」「すてきだね」など、相手の心が元気になったり、楽しくなったりすることばのことです。「ちくちくことば」は「じゃま」「だいきらい」など、相手の心が痛くなったりすることばです。

どちらの本もシリーズものです。クイズやマンガも出てくるので、とても読みやすいですよ♪



「この表現がぴったり！ にていることばの使い分け」 監修／高木まさき（光村教育図書）

- ①気持ちを表すことば
- ②性格や特徴を表すことば
- ③動作や思考を表すことば

モヤモヤしたきもちや、うれしいきもち、イライラしたときはどんな言葉で表現したらいいの？自分の大切な気持ちを伝えたいときに「ぴったりなことば」を探してみましょ。作文や日記、読書感想文を書くときなど、書く言葉に困ったときにもぜひ。

言葉の
つながり



家族の「おかえりなさい」が、待っているその道へのつながり

「ぼくのかえりみち」 作／ひがしちから（BL出版）

学校からのいつもの帰り道が、小さなぼうけんに変身！ドキドキ、わくわく！が描かれた絵本。おはなしの最後には心がほっこりあたたかくなります。帰り道の途中で「きょうはこの白い線の上だけを歩いて帰ろう」と、想像したことはありませんか？そんな子どもならではの「帰り道あるある」をユニークに描いています。



家族のつながり

「あんなに あんなに」 著／ヨシタケシンスケ（ポプラ社）

いつか大人になる子どもから、むかし子どもだったすべての人の心に響く作品です。大人が読むと「子育てあるある」に思わず共感してしまうかも？著者のヨシタケシンスケさんの絵や文章は、道徳の教科書にもなっていて、子どもたちや先生に大人気です。このほかにもヨシタケシンスケさんの本は学校図書館にたくさんあります。家族みんなで楽しめる絵本です。



からスポ

令和7年12月 北見市南仲町南小学校

鈴木監督が試合前のアップ中にまさかの肉離れ!? 試合前に「がんばって!!」の応援に苦笑で返したのは、肉離れのせいだった。「使いものにならなかった。」(本人談)

まさかの肉離れ

今年はず選で西小に負けてしまったが、本戦の「回戦」準決勝、決勝と全3コールド勝ちを果たした。投手の好投打線が上手くつなげたのが勝因だ。ぜひ来年は、球場で南小チームの熱い闘いに声援を送って欲しい。

積み上げたコールド勝利



当番校としての役割
PTA野球優勝の舞台裏では、会場設営、試合進行などの業務を引き受けて下さったPTAの方々があった。
この役割はPTA係りの二つとして仕事であり、選手を含め約二十名ほどが力を貸してくれた。輝かしい南小の成績、他校との交流の場があったのは、PTA会員の力のおかげである。

最優秀選手賞 米野さん

最優秀投手賞 野崎さん



かぼちゃ団子の味噌汁

1人分

かぼちゃもち	30g
厚揚げ	15g
玉ねぎ	15g
にんじん	7g
ねぎ	5g
味噌	8g
だし	0.5g
鰹厚けずり	1.5g

広報作成でつながり!



校長先生に「入場券」もらっちゃいました!

Editor's note

今回の広報は、編集会議から生まれたキーワード「つながり」をテーマに作成しました。どのページも「つながり」に関連するように、広報メンバー全員で考えぬきました。親子の「つながり」時間として、一緒に楽しんでもらえたら嬉しいです。そして、南小PTAのみなさんを、つないでいく一つのツールになれたらいいと思います。

広報メンバーは、子育ての話や趣味の話など、おしゃべりを楽しみながら、作成しています。おしゃべりしすぎて肝心の編集会議の内容を忘れることも! そんな私たちと、ぜひ、広報作成を通してつながりませんか?